

There + be +主語



There **was** a young fisherman.



There **were** an old man and an old woman
in a village.

Point

①初めて話に出てくる、聞いている人がどこの誰なのか、誰のものなのか分からない人や物（不特定のもの）が「いる」「ある」ことを伝えるときには次の表現を使います。

There + be動詞 + 不特定のもの（主語） (+場所)

②主語と時間に合わせて**be動詞**が変化します(is, are, was , were)。

③初めて話に出てくる、聞いている相手がわからない人や物のことをいきなり言うと、聞いている相手にわかりにくいので、**There**から文を始めます。

Thereは心の準備をするために使っているので場所の意味はありません。

④人や物が特定される「固有名詞、代名詞、the+名詞など」は、相手が分かっていることなので、心の準備は必要が無いため、この表現は使いません。

⑤場所を表す言葉を加えるときには主語の後に加えます。

1. 前置詞の意味を確認しよう。

前置詞	意味	書いて練習しよう	前置詞	意味	書いて練習しよう
(1) on	~の上に		(2) under	~の下に	
(3) in	~の中に		(4) over	~の上に	
(5) by	~の側に		(6) around	~の周りに	
(7) near	~の近くに		(8) in front of	~の前に	
(9) between A and B	AとBの間に				

2. 日本語の意味を表すように英語で表現してみよう。

(1) テーブルの下に猫がいます。

(2) 机の上にパソコン (computer) があります。

(3) 昨日、テーブルの下に何冊かの本がありました。

(4) 昨日、テーブルの下に何冊かの本がありました。

(5) 昨日、テーブルの下に何冊かの本がありました。

There + be +主語



There **was** a young fisherman.



There **were** an old man and an old woman
in a village.

Point

①初めて話に出てくる、聞いている人がどこの誰なのか、誰のものなのか分からない人や物（不特定のもの）が「いる」「ある」ことを伝えるときには次の表現を使います。

There + be動詞 + 不特定のもの（主語） (+場所)

②主語と時間に合わせて**be動詞**が変化します (is, are, was, were)。

③初めて話に出てくる、聞いている相手がわからない人や物のことをいきなり言うと、聞いている相手にわかりにくいので、**There**から文を始めます。

Thereは心の準備をするために使っているので場所の意味はありません。

④人や物が特定される「固有名詞、代名詞、the+名詞など」は、相手が分かっていることなので、心の準備は必要が無いため、この表現は使いません。

⑤場所を表す言葉を加えるときには主語の後に加えます。

1. 前置詞の意味を確認しよう。

前置詞	意味	書いて練習しよう	前置詞	意味	書いて練習しよう
(1) on	~の上に		(2) under	~の下に	
(3) in	~の中に		(4) over	~の上に	
(5) by	~の側に		(6) around	~の周りに	
(7) near	~の近くに		(8) in front of	~の前に	
(9) between A and B	AとBの間に				

2. 日本語の意味を表すように英語で表現してみよう。

(1) テーブルの下に猫がいます。

There is a cat under the table.

(2) 机の上にパソコン (computer) があります。

There is a computer on the desk.

(3) 昨日、テーブルの下に何冊かの本がありました。

There were some books under the table yesterday.

3. 次の英文と同じ意味を表す。英文を書きましょう。

(1) This city has three stations.

There are three stations in this city.

(2) The library has many kinds of books.

There are many kinds of books in the library.